

～管内の出穂期は 8月4日前後 の予想～

気象経過 ～ 高温・多照・少雨傾向 ～

◎ 7月中旬は、平均気温が平年差+3.6℃と高く、日照時間は平年比107%とやや多くなりました。降水量は平年比10%と少なくなりました。

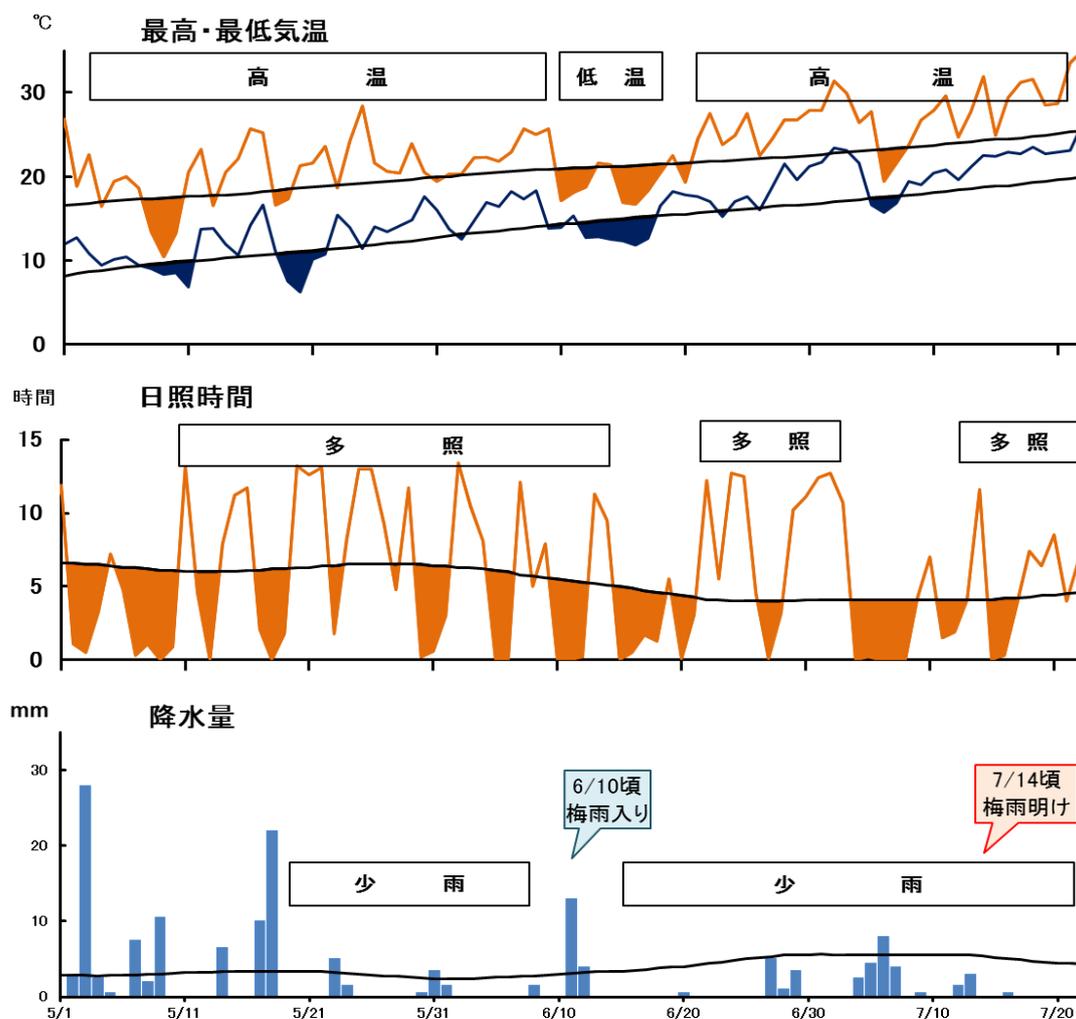


図1 田植え後の気象経過 (石巻アメダス)

生育調査ほの生育状況 ～ 田植えの早いほ場では既に減数分裂始期に ～

- ◎ 草丈は、平年よりやや長くなっています。
- ◎ 茎数は、平年よりやや少なくなっています。
- ◎ 葉色 (SPAD値) は、平年並になっています。
- ◎ 幼穂長は43～82mmとほぼ平年並みとなっています。
 5月上旬に田植えをしたほ場ではすでに減数分裂期に達しています。

表1 生育調査ほの調査結果(7月20日)

品種	調査ほ場	移植日 (月/日)	草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉数(枚)		葉色(SPAD値)					
			前年比 (%)	平年比 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	前年差	平年差				
ひとめぼれ	石巻市広瀬	5/5	75.8	110	106	499	108	96	12.7	0.2	0.5	32.5	0.1	0.2
	東松島市小松	5/5	70.3	107	108	489	93	94	12.6	0.4	0.5	32.8	-1.0	-0.3
	平均	5/5	73.1	108	107	494	100	95	12.7	0.3	0.5	32.7	-0.4	0.0
ササニシキ	石巻市桃生町寺崎	5/10	67.7	101	104	478	81	82	12.5	-0.7	0.7	29.6	-1.7	-1.9
	石巻市井内	5/8	73.2	109	108	522	97	102	12.9	0.3	0.4	37.6	3.8	2.9
	平均	5/9	70.5	105	106	500	88	91	12.7	-0.2	0.5	33.6	1.1	0.5

※平年値は過去5か年平均。

表2 生育調査ほの幼穂長 (7月20日現在)

品種	調査ほ場	幼穂長(mm)		減数分裂期(盛期)		出穂期		
		前年	平年	前年	平年	前年	平年	
ひとめぼれ	石巻市広瀬	81.3	48.1	74.7	7/24	7/21	8/4	8/1
	東松島市小松	81.8	94.0	86.7	7/21	7/20	8/2	7/31
	平均	81.6	71.1	80.7	7/22	7/20	8/3	7/31
ササニシキ	石巻市桃生町寺崎	22.5	31.3	15.7	7/24	7/26	8/5	8/5
	石巻市井内	63.3	27.0	33.9	7/24	7/24	8/5	8/3
	平均	42.9	29.2	24.8	7/24	7/25	8/5	8/4

表3 幼穂形成期と減数分裂期の目安

生育ステージ	項目	出穂前日数	幼穂長(cm)	葉耳間長(cm)
幼穂形成始期	始期	25日	0.1	-
	盛期	15日	3~4	-10.0
減数分裂期	始期	15日	3~4	-10.0
	盛期	12日	8~10	±0
出穂期	出穂期	0日	16~18	-

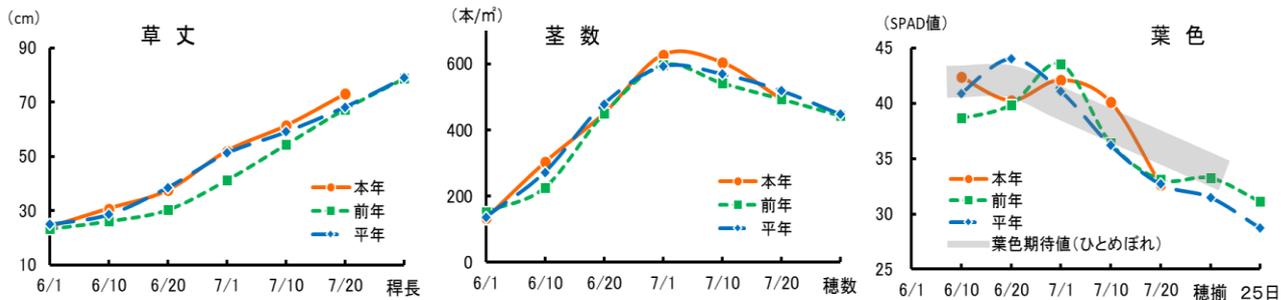


図2 ひとめぼれ生育調査ほ(平均)の草丈・茎数・葉色の推移

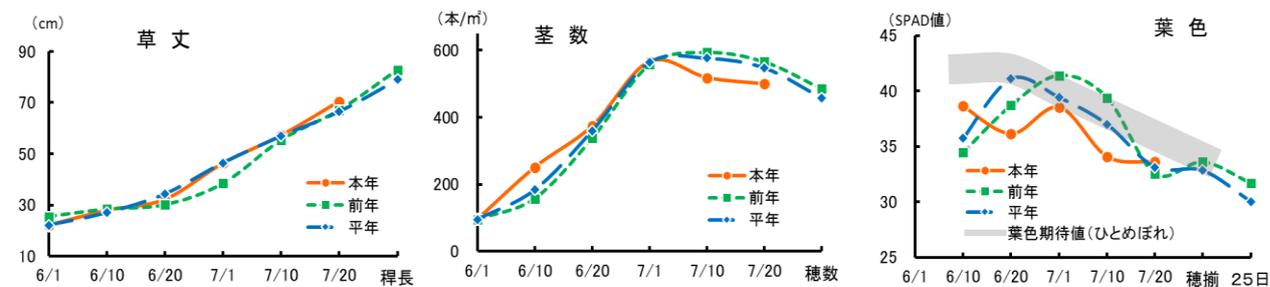


図3 ササニシキ生育調査ほ(平均)の草丈・茎数・葉色の推移

除塩(復旧1作目)調査ほの生育状況

- ◎ 長面ほ場では、移植が遅れたために生育量は少な目です。なお、6月に隣接ほ場で見られた塩害による生育障害は回復しました。
- ◎ 洲崎ほ場では、生育障害はみられず順調に生育しています。

表4 除塩調査ほの調査結果(7月20日調査)

品種	調査ほ場	移植日 (月/日)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
ひとめぼれ	石巻市長面	5/28	62.4	338	12.1	39.0
	東松島市洲崎	5/17	75.5	500	12.1	35.0

だて正夢展示ほの生育状況

- ◎ 草丈はひとめぼれより10cm程度長くなっています。
- ◎ 茎数はひとめぼれより100本/m²程度少なくなっています。
- ◎ 葉色はひとめぼれより2ポイント濃くなっています。
- ◎ 幼穂長はひとめぼれとほぼ同じになっています。

表5 だて正夢展示ほの生育状況(7月20日調査)

品種	調査ほ場	移植日 (月日)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	幼穂長 (mm)
だて正夢	東松島市 小松	5/3	80.9	393	12.9	34.8	83.3
ひとめぼれ		5/5	70.3	489	12.6	32.8	81.8

今後の管理

出穂期予測

～ 管内の出穂期は8月4日頃の予想 ～

- ◎ 7月20日現在の生育調査ほの幼穂長から判断して、5月上旬に移植した北部平坦や仙台湾岸のひとめぼれとササニシキのほ場は、減数分裂期に達しているとみられます。
- ◎ 管内の平坦部の出穂期は、8月4日前後と予想されます(表6)

表6 ひとめぼれ・ササニシキの出穂期予測(7月20日現在)

地帯区分	減数分裂始期	出穂期
北部平坦	7/18 ～ 7/23	8/2 ～ 8/6
仙台湾岸	7/18 ～ 7/23	8/2 ～ 8/6
三陸沿岸	7/23 ～ 7/27	8/9 ～ 8/13

水管理

～ 低温時は深水管理の徹底を ～

- ◎ 出穂期前後の基本的な水管理は表6のとおりです。出穂期は水を多く必要とする時期なので、浅水管理とし、その後は水を切らさないようにしましょう。

表7 出穂期前後の水管理

生育ステージ	穂ばらみ期	出穂始～穂揃期	登熟期
水管理	間断かん水	浅水管理	間断かん水

- ◎ 復元田や直播栽培等で倒伏が心配される場合や中干しが十分に実施できなかった場合には、飽水管理を行いましょう。ただし、出穂後の飽水管理は、「田面が乾燥し始めたら直ちに入水」を繰り返し、稲に水分ストレスを与えないようにしてください。
- ◎ 出穂後5～15日の最低気温が23℃以上が連続するような高温の場合、白未熟粒が多発し、著しい品質低下を招く危険がありますので、「昼間深水・夜間落水管理」を行いましょう。
- ◎ 除塩（復旧1年目）ほ場で間断かん水を行う際は、土壌の乾かしすぎないように注意しましよ
う。
- ◎ 早期落水は、登熟不良や品質低下の原因となるので、出穂後30日を目安に、収穫作業に支障のない範囲でできるだけ遅くする。

病虫害防除

1 いもち病

- ◎ すでに葉いもちが確認されています。水田の見回りをこまめに行い、葉いもちの早期発見に努めましょう。
- ◎ 葉いもちの上位葉での発病は、穂いもちの重要な伝染源となります。葉いもちが確認された場合には直ちに茎葉散布剤による防除を実施しましよ
う。

2 紋枯病

- ◎ 環境保全米・S基準米の薬剤（Dr.オリゼフェルテラ剤など）では、紋枯病は適用病害に入
りません。出穂期以前からの発病は被害が大きくなりやすいので、発生状況を確認しましよ
う。
- ◎ 穂ばらみ期の発病株率が要防除水準（ひとめぼれ18%以上、ササニシキ10%以上）に達
した場合には薬剤防除を行いましょう。（※ JAいしのまき環境保全米・S基準米では使用薬剤が
限られますので注意しましよ
う）。
- ◎ 茎葉散布剤の散布適期は「穂ばらみ期～出穂期」です。

3 斑点米カメムシ

- ◎ 出穂10日前以後の草刈りは、カメムシ類を水田に追い込むことになるので避けましよ
う。
- ◎ 薬剤防除は「穂揃期」と「その7～10日後」の2回が基本です。
- ◎ 本田にイヌホタルイ等の発生が多い場合には、1回目の薬剤散布を「出穂始～穂揃期」に早
めることによって、本田内のカメムシ類の密度を低下させ、被害を軽減することができます。
- ◎ 環境保全米等でやむを得ず1回防除となる場合には、穂揃後3～5日頃に散布してくだ
さい。